

「孫育」で孫育て他孫育ての力になろう！

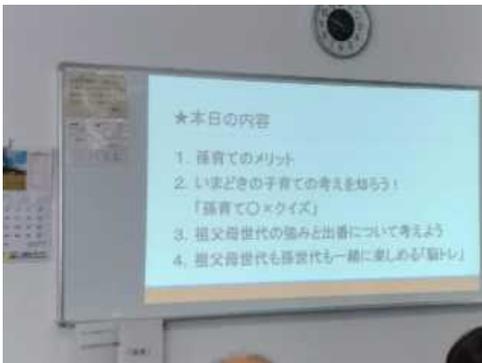


孫育



孫育

焼津市の平成30年度男女共同参画セミナーとして、10月30日(火)小川公民館で「孫育(まごい  
く)」をテーマにした講座が開かれました。  
これは孫育て・他孫(たまご)育てを支援することにより、祖父母世代の力を子育て世代につなげ、家族  
や地域の良きじいじ・ばあばとして子育て力・地域力を高めて行こうというもので、企画提案者でもある村  
松晶子さんが講師を務めます。



孫育



孫育

はじめに歌に合わせたじゃんけんゲームで会場の雰囲気をほぐした後、「いまどきの子育て〇×クイズ」  
からスタート。私たち世代がしてきた、又されてきた方法が、現在の育児の常識とどんな風が変わっている  
のかを学びます。

例えば、昔は赤ちゃんに日光浴をさせることが一般的でした。が、現在は昔より紫外線が強くなり、その  
害を避けるため外気浴を勧めているそうです。こういう事を何も知らずに昔の常識だけを当てはめると、せつかくの好意も心から喜ばれず、すれ違いの原因にもなり兼ねません。協力する時には、まず今の  
育児の常識を知ることが必要だと実感できました。

このように、今と昔の子育ての違いを知ることや、心や体力に余裕を持つこと、そして叱るのは命の危険  
や他人に迷惑をかけた時だけその場ですぐに！を心掛け、普段は孫の褒め役と応援団になること、など  
の心得を学びました。



孫育



孫育

その後、読み聞かせの良さや絵本の選び方についてのアドバイスがありました。  
子供にとって、自分のために読んでくれること・その声が温かな幸福感として記憶に残り、心の安定に繋がること、読む私たちにとっても脳トレとして良い効果を生むこと、そしてできれば是非膝に乗せて読んであげて下さいね、とそのスキンシップの効用を話して下さいました。また、昔の遊びをたくさん伝えて欲しいとも話されました。

最後に参加者からの質問に対し、

- ・ 預かる前には自分たちの意向も伝えてよく話し合い、お互いに嫌な思いをしないように。そして預かる時は気持ちよく。文句は言わない。
- ・ 思春期や反抗期は一旦子供が離れる時期と理解し、時が過ぎるのを待つ。

などそれぞれにアドバイスを下さり、聞いている皆さん全員の良い参考になったと思います。

祖父母世代が、少しでも忙しい現役世代の手助けをすることで、負担の軽減や、安心感と笑顔につながるのなら、ぜひ力を貸して行きたいですね。子育て時代を奥さん任せにしていた男性などは特に、当時の大変さを改めて想い、奥さんへの感謝の気持ちも生まれて夫婦間のコミュニケーションが増す、という効用もあるそうですよ！

自分の孫だけでなく、よその子供たちに向けても何かできる機会があれば、自身の励みにもなり、地域の助けにもなります。無理のない範囲の助け合いが世代間のつながりを強め、私たちにとっても安心で温かな地域になり、皆に大きなメリットをもたらします。

私も力を貸してあげられるバアバになろう！と思いながら会場を後にしました。

志太榛北地区担当特派員 増田昌江